

スポーツ会 大 3月

◆第9回公民館分館対抗卓球大会
(3月11日、総合体育館)
▶優勝 立仏A、準優勝 板井、3位 寺地、敢闘賞 立仏B
※13チーム参加

◆男子第11回、婦人第13回町民バレーボール親善大会
(3月25日、総合体育館)
▶男子の部 優勝・山田バレーボール、準優勝・大野分館、敢闘賞・柳作バレーボールクラブ
▶女子の部 優勝・山田バレークラブ、準優勝・大野分館、敢闘賞・木場バレー部
※男子の部6チーム、女子の部5チームが参加。



黒鳥小の入学式

新しい気持ちで新入学
春は希望に胸ふくらませた新入生たちの季節。黒鳥小・板井小では四月六日(金)、大野小・立仏小・山田小・木場小では四月七日(土)に、それぞれ入学式が行われました。黒崎中学校の入学式は六日の午後から、各小中学校の新入生数は下表のとおり。なお、町内各保育所の入所式は一足早く四月五日(木)に行われました。

小中学校の新入生数(入学式当日)

| 学校名 | 男子 | 女子 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|
| 大野小 | 74 | 65 | 139 |
| 山田小 | 42 | 45 | 87 |
| 立仏小 | 27 | 32 | 59 |
| 黒鳥小 | 7 | 15 | 22 |
| 木場小 | 16 | 14 | 30 |
| 板井小 | 14 | 10 | 24 |
| 計 | 180 | 181 | 361 |
| 黒崎中 | 161 | 163 | 324 |

町内各保育所(園)の新年度児童数
(4月1日現在)

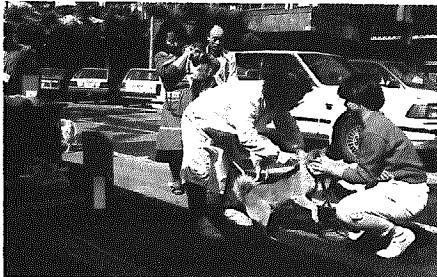
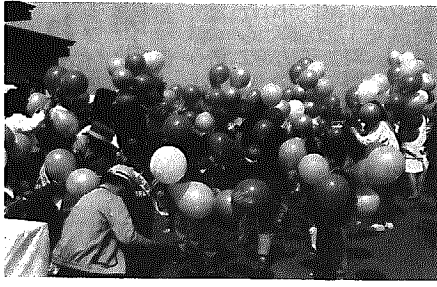
| 保育所名 | 児童数 | 保育所名 | 児童数 |
|-------|-----|-------|-----|
| 大野保育所 | 186 | 興野保育所 | 89 |
| 木場保育 | 83 | 善久保育所 | 45 |
| 立仏保育所 | 63 | 寺地保育所 | 60 |
| 山田保育所 | 127 | 板井保育所 | 41 |
| 黒鳥保育園 | 47 | 合計 | 741 |

第22回黒崎町少年相撲大会
第5回腕白相撲黒崎場所
日時 5月20日日 午前8時～
会場 大野諏訪神社相撲場
主催 黒崎町教育委員会、黒崎町相撲連盟、黒崎青年会議所
※町内の小学4、5、6年生の男子が出場します。皆さんの応援をお待ちしています。なお、優勝者は「わんぱく相撲全国場所」に出場します。

THE WANPAKU

花と風船で安全呼びかけ
四月十日(火)、木場保育所前で交通安全指導所が開設されました。木場保育所園児とその父母、交通安全指導員らがドライバーの皆さんに花を植えた鉢を贈り、交通安全を呼びかけました。それに先立ち、木場保育所の園児たちが交通安全を呼びかけるメッセージをつけた風船をいっせいに飛ばしました。

飛ばした風船は約200



犬も注射はこわい

犬の登録と予防注射
四月十一日(火)、役場・木場小・立仏公民館の三会場で、犬の登録と狂犬病の予防注射が行われました。役場前の駐車場では愛犬たちが行列を成して順番を待っていました。この日登録を受けた犬は三会場あわせて五〇二頭。なお、この日、注射を受けなかった犬は、獣医師から必ず受けてください。(保健衛生課)

グラウンドゴルフをしてみませんか?

黒崎町体力づくり教室を開催します

▼会場 町営野球場(木場)
▼日時 5月10日、24日、6月7日、21日
(都合のよい日にご参加ください)
時間は、午後7時～8時30分
①教育委員会(総合体育館内 ☎377-5211)か
北部地区公民館(☎232-0077)まで。

旧北国街道を歩く

弥彦神社から寺泊まで約8kmを歩きます。
▼開催日 5月13日日
▼費用 600円(写真代等)
①5月10日までに教委社会教育課へ(☎377-5211)

昭和二十八年の緒立遺跡発見以来、数次にわたる発掘の詳細は調査報告書に公表されているので、専門的な事柄は省き、遺跡発見の動機とそれに関わる裏話を、記憶にたよりながら記してみたい。

◆遺跡発見のきっかけ
昭和二十八年の七月、八幡宮本殿わきに古式土師器の大ガメが発見されて数日後、黒鳥の鷺尾仁作さん(故人)が八幡宮の社務所で「うちの畑を地ならした時、これと同じようなカメラやかけらがザクザクと出たので、全部、一輪車で近くの舟入堀(秋刈り取った稲を舟で運び出す小さな堀)に捨てたもんだ」と話してくれた。それでは……ということ、鷺尾年秀さん(故人)と二人で現地調査に乗り出した。付近の畑に持主の許可を得たうえ、四角の穴をあけ、四〇五〇センチの深さから多量の完形を含む土器片を掘り当てた。さっそく二人で心ゆくまで祝杯を重ねたことが忘れられない。

以来、毎年きままって七、八月を中心に、鷺尾年秀さんと筆者の二人で表面採集や検土杖を使って遺跡の分布範囲を模索して歩いた。

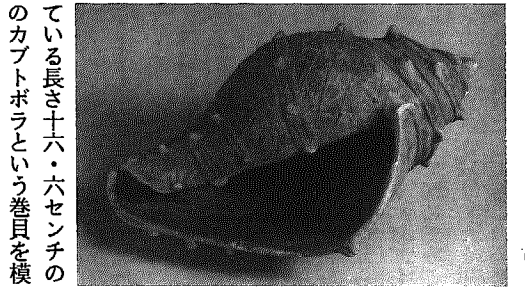
そのころ、八幡宮出土の大ガメの復元に成功した巻町の上原甲子郎さん(故人)をリーダーにして、同好者十数人で「黒崎地方史研究会」が発足した。これで、やや組織

緒立路散策

緒立遺跡の発掘と失われた環状列石

布川 忠一

◆発掘アルバイトで大手柄
昭和三十三年、上原、永峯、磯崎の諸先生らと正式発掘に入る前の時点で、黒崎地方史研究会は特筆すべき大きな仕事をしたと自負している業績がある。それは当時、黒崎中学校の教諭だった坂倉伝三郎さんの縁故をたより、十人ほどで山形県境に近い府屋町の上の山遺跡を発掘したことである。



朱漆塗巻貝形土器

◆惜しまれる環状列石特殊石組(ストーンサークル)の焼失
昭和三十年ころ、緒立遺跡B地区で、中央に石柱を立て、そのまわりに細長い割石(一部朱痕)や河原石を放射状に密接に組み敷き、外周にも細長い石を円形にめぐらせた直径一メートルほどの構造物が発見された。一部では日時計ともいわれている特殊な遺構である。その実測図、ネガ、プリント、遺物など一切を役場に保管しておいたのだが、借ししいことに昭和三十五年の

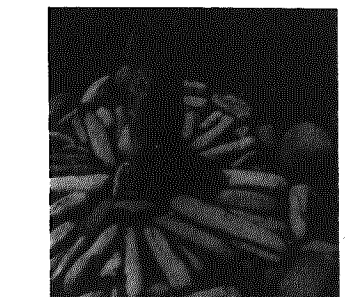
昭和五十四年のB地区発掘(緒立パイパスの下)でわかったのだが、死者を葬った土穴や勾玉、管玉類、抜歯人骨などがそこから二十メートルと離れていないところから発掘されている。それで、当時は推定できなかったことだが、おそらく縄文晩期から弥生中期ころ(今から約二〇〇〇年前ころ)の祭祀跡と考えてよいと思われている。

右岸河岸段丘上にある遺跡で、縄文後期に属する。畑では一人の小学生が数十の石鏃を標本にして、筆者らに見せてくれた。全部、表面採集だといふ。筆者も石鏃や石砲丁など数個の遺物を表面採集し、現在も保管している。

した用途不明の土器であった。発掘の最初の日であり、全員歓呼して、異様な雰囲気になることができた。

役場の火災で、全部灰燼に帰してしまっただけでなく、遺物の多くは焼失した。遺物の多くは焼失した。遺物の多くは焼失した。

流通団地の開発にかかわる緒立遺跡C地区の発掘調査が今年もまた引き続いて行われることになった。場所は緒立八幡宮本殿の後ろ側である。古代の住居跡(竪穴住居)や食文化の原点ともいえるべき土器群、丸木舟などとともに中世以降の空白部分を埋める居館などの新たな物証がどんなところからどんな形で日の目を見るのだろうか? 確率の少ないのを承知の上で他愛のない期待を捨てきれない。



環状列石(「原色日本の美術1 原始美術」小学館より)